

※本来ならば公平性に十分配慮すべきものだが、試験問題に対して各自がどのように解答するかを見届けることができないことから、試験問題の解答は、どの文献を（誰の意見を）参照したかや費やした解答時間は問わず、解答の完成度で評価することを優先する。つまり、求める解答に対して、不足することもなくかつ過剰・蛇足でもないという視点から評価する。

1. 次の英文を和訳するのではなく、日本語 400 字以内で要約せよ。要約する際、英文に書かれていないことを記さないこと。

Fed Chairman Jerome Powell aptly summarized the level of uncertainty in his May 21st speech, noting “We are now experiencing a whole new level of uncertainty, as questions only the virus can answer complicate the outlook.” Indeed, there is massive uncertainty about almost every aspect of the COVID-19 crisis, including the infectiousness and lethality of the virus; the time needed to develop and deploy vaccines; whether a second wave of the pandemic will emerge; the duration and effectiveness of social distancing; the near-term economic impact of the pandemic and policy responses; the speed of economic recovery as the pandemic recedes; whether “temporary” government interventions will become permanent; the extent to which pandemic-induced shifts in consumer spending patterns, business travel, and working from home will persist; and the impact on business formation and research and development.

In this light, we examine several measures of economic uncertainty before and during the COVID-19 pandemic. Our focus is on uncertainty measures available in near real-time or with modest delays. We adopt this focus for three reasons. First, many macro indicators become available with lags of months or quarters, which limits their usefulness in producing real-time uncertainty measures. Second, uncertainty measures have different strengths and weaknesses. For example, measures derived from models fit to standard macro data have the upside of being linked to a well-defined concept of uncertainty, but the downside of being based on the premise that past statistical relationships and their interpretation continue to hold in the wake of sudden, novel developments. In reverse, newspaper measures of uncertainty do not correspond to a precise model, but are forward looking and available on a real-time basis. Third, when a large, novel shock hits with great suddenness, it is especially vital for real-time forecasting purposes and for policy formulation to work with measures that capture the uncertainties that economic agents actually perceive. Many of the forward-looking uncertainty measures we consider can potentially meet that test in a way that other measures cannot.

※注 Fed：連邦準備制度理事会（Federal Reserve Board）

（Dave Altig et al., Economic uncertainty before and during the COVID-19 pandemic, *Journal of Public Economics* vol.191, 104274, pp.1-2, 2020）

2. ミクロ経済学とマクロ経済学に関する①～⑧の記述について、正しい場合は○、間違っている場合には×、どちらでもない場合は△をつけて答えよ。また、誤っている×の記述とどちらでもない△の記述について、その理由も付して答えよ。

- ① 貨幣需要の利子弾力性が大きくなるほど、政府支出を増やすと、クラウディング・アウト効果は大きくなる。
- ② 日本国民が海外で稼いだ株式の譲渡益（キャピタル・ゲイン）は、日本の国民総生産に含まれない。
- ③ 国内純生産は、国内総生産（GDP）よりも通常は小さい額となる。
- ④ 企業の生産において、通常、限界費用曲線は、平均費用が最低となる点で平均費用曲線と交わる。
- ⑤ 上級財（正常財）である第1財と第2財について、第2財の価格のみが上がったときに、第1財の消費量が減るのは、所得効果より代替効果の方が大きいことを意味する。
- ⑥ 上級財（正常財）である第1財と第2財について、横軸に第1財の消費量、縦軸に第2財の消費量をとった図における所得消費曲線が垂直に近い傾きをしているとき、第1財と第2財はともに必需財である。
- ⑦ 独占企業が生産する財の市場において、総余剰（消費者余剰と生産者余剰の和）は、同じ財が完全競争市場で取引されたときよりも大きくなる。
- ⑧ 企業は、限界費用曲線が最低となる生産量よりも多い生産量では必ず生産する。

3. ある財を生産している2つ企業AとBがあるとする。その2社だけが、対等な立場で利潤最大化を目指して同じ財を生産しているとする。その財について、市場における需要曲線が、

$$X=50-0.5P$$

ただし、X: 市場全体の需要量、P: 価格と表されるとする。他方、企業Aの費用曲線が、

$$c_A=y_A^2+18$$

ただし、 c_A : 企業Aの総費用、 y_A : 企業Aの生産量と表され、企業Bの費用曲線が、

$$c_B=y_B^2+40y_B+70$$

ただし、 c_B : 企業Bの総費用、 y_B : 企業Bの生産量と表されるとする。このとき、下記の(1)～(5)について答えよ。

※注意：答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと（きれいに書いていなくてもよい）。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。解答は、整数でなくてよいが、分数の場合はできるだけ既約分数で答えること。

- (1) 企業Aの反応関数を求めよ（図示する必要はない）。
- (2) 企業Bの反応関数を求めよ（図示する必要はない）。
- (3) この複占市場のクールノー均衡における企業Aの生産量と企業Bの生産量は、それぞれいくらかを答えよ。
- (4) (3)の均衡における市場価格はいくらかを答えよ。
- (5) (3)の均衡において、企業Aの利潤と企業Bの利潤は、それぞれいくらかを答えよ。

4. マクロ経済学に関する以下の問に答えよ。なお、ハイパワード・マネーやベースマネーやマネタリーベースなどと呼ばれる通貨量は、マネタリーベースと呼ぶこととする。

- (1) マーシャルの k とは何か、その定義を答えよ。
- (2) 貨幣乗数とは何か、その定義を答えよ。
- (3) 貨幣乗数が低下するとき、どのような経済現象が起きているか説明せよ。
- (4) 貨幣市場が均衡している状態で、名目 GDP とマネタリーベースが変化しないとき、貨幣乗数が低下すると、マーシャルの k はどうなるか、その理由とともに答えよ。
- (5) 貨幣市場が均衡している状態で、実質 GDP とマネタリーベースが変化しないとき、マーシャルの k と物価 (GDP デフレーター) が同時に上昇すると、貨幣乗数はどうなるか、その理由とともに答えよ。
- (6) 貨幣市場が均衡している状態で、名目 GDP とマネタリーベースが同じ増加率で変化するとき、マーシャルの k と貨幣乗数はどうなるか、その理由とともに答えよ。
- (7) 貨幣市場が均衡している状態で、実質 GDP とマネタリーベースが変化しないとき、マーシャルの k の方が貨幣乗数よりも大きく低下すると、物価 (GDP デフレーター) はどうなるか、その理由とともに答えよ。

以上